

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：山本暁子

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収 書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R7.3.30～ 4.5	R7.3.31～ 4.3	フィンランド、 オーストリア	LUKE、TAPIO、 Mayr-Melnhof Foresttechnik GmbH など	LUKE BIOSYS ジ ャパンエコシ ステムほか	鳥取・岡山県境 議員連盟	0701-01
R7.4.25	13:00 ～15:00	鳥取県日野郡 江府町武庫 1990-1、岡山県 真庭郡新庄村	俣野川発電所	中国電力 鳥 取支社 広報 グループ副長 ほか	視察	0425-01、 0425-02
R7.5.12～ 5.16	5月13日 9:00～15: 00 5月14日 11:00～12: 00、13: 00～14:00 5月15日 12:00～13: 00	大阪府大阪市 此花区夢洲中 1丁目、東京都 千代田区霞が 関三丁目2番 2号ほか	EXPO2025 大阪 ・関西万博、 文部科学省ほ か	(公社) 20 25年日本国 際博覧会協 会、 文部科学省初 等中等教育局 特別支援教育 課ほか	視察	0410-01、 0411-01、 0509-01、 0512-01、 0513-01、 0513-04、 0514-01、 0515-01、 0516-01、 0421-03、 0513-03
R7.6.5	10:00～16: 45	東京都千代田 区永田町2丁 目2-1	衆議院会館、参 議院会館ほか	石破茂衆議院 議員ほか	国政要望、意見 交換	0604-01、 0605-01
R7.6.30～ 7.1	9:00～19: 00	大阪・関西万博	大阪・関西万博	鳥取県知事ほ か	視察	0708-01
R7.8.28	11:00～17: 00	鳥取県鳥取市 尚徳町101- 5	鳥取県庁、 とりぎん文化 会館ほか	鳥取県教育委 員会、鳥取県教 育学術課、文部 科学省初等中 等教育局 ほ か	「学びの多様 化学校と不登 校支援の今」勉 強会ほか	0828-03
R7.9.2～ 9.3	9/2 15:00 ～17:00、 9/3 9:00～ 11:00	岡山県津山市	ザ・シロヤマテ ラス津山別邸、 つやま自然の ふしぎ館	岡山県議会議 員、公益財団法 人津山社会教 育文化財団	鳥取・岡山県境 議員連盟、視察	0902-02、 0903-01
R7.9.8～ 9.9	9/8 13:00 ～14:30、15: 00～16: 30、9/9 13	高知県南国市、 高知市、東京都 千代田区九段 南	高知大学物部 キャンパス、高 知県庁、駐日イ ンド大使館	高知大学農林 海洋科学部教 授 深田氏、高 知県水産振興	鳥取県の水産 業の発展を考 える会、鳥取県 ・インド友好	0828-01、 0909-01、 0331-02

	:30～16:30			部 課長土居氏、駐日インド大使館首席公使マデュ・スダン・ラビンドラン氏 ほか	議員連盟視察	
R7. 9. 22～23	R7. 9. 23 10:00～11:30	東京都港区新橋 1-11-7	とっとりおかやま新橋館	鳥取県・岡山県共同アンテナショップ 運営協議会事務局、一般社団法人鳥取県物産協会 ほか	視察	0915-01、0917-01、0918-01、0923-01
R7. 10. 9～R7. 10. 10	10/9 11:30～16:05 10/10 10:00～11:30	東京都千代田区永田町 2丁目 2-1	総理官邸、内閣府、参議院議員会館ほか	内閣総理大臣石破茂氏、経済再生担当大臣赤沢亮正氏 ほか	国要望	0922-01、1009-02、1010-01、1010-02、1010-03、1010-04
R7. 10. 17～10. 18	10/18 8:00～9:30、13:30～17:00	岡山県吉備中央町、岡山県瀬戸内市	吉備高原 N スクエア、長島愛生園	株式会社システムズナカシマ 課長 細井氏、長島愛生園歴史館 学芸課長 田村氏 ほか	視察	1017-01
R7. 11. 18	10:00～11:00	東京都千代田区永田町 2丁目 2-1	衆議院第一議員会館	金子国土大臣 ほか	国要望	1117-03
R8. 3. 1	9:00～11:00	鳥取市瓦町 525	パブリックスペース「みふくや」	高校生、大学生、鳥取市長 ほか	意見交換会	0301-01
R8. 3. 11	12:00～14:00	鳥取市栄町 752	コワーキングスペース 駅前 WiFi スペース	社会人、大学生 ほか	ヒアリング・意見交換	0311-01

- ・交通費（JR 等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が 1 日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

【2026年3月1日】

高校生、大学生とともに意見交換会を行った。

▶参加人数

11名

▶場所

パブリックスペース「みふくや」

鳥取県鳥取市瓦町525

▶内容

＜若者と女性に選ばれる鳥取県＞

- ・若者の就職先と県外流出について
- ・学校の環境について
- ・若者の居場所について
- ・結婚と出産と育児について

＜駅前開発について＞

ゲストに深澤鳥取市長にも起こしいただき、駅前開発についての意見交換



【2026 年 3 月 11 日】

県政に対するヒアリング、要望受付

▶参加人数

3 名

▶場所

ホテルレッシュ鳥取駅前 コワーキングスペース 駅前 WiFi テラス
(鳥取県鳥取市栄町 7 5 2)

▶内容

- ・ イベントのあり方について
- ・ 駅前開発について
- ・ 働き方について
- ・ 企業について

活動報告(県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	鳥取・岡山県境議員連盟によるフィンランド及びオーストリアにおける林業をはじめとした先進的な取組等に関する調査
活動年月日	R7年3月30日(日) 移動 31日(月) 9:30~11:00 政務活動① 13:30~15:00 政務活動② 4月1日(火) 11:00~11:45 政務活動③ 14:00~16:00 政務活動④ 2日(水) 6:30~12:00 移動 14:00~15:00 政務活動⑤ 15:00~18:30 移動 3日(木) 8:30~12:00 政務活動⑥ 13:00~16:00 政務活動⑦ 4月4日(金) 移動 4月5日(土) 移動 ※日付変更線
場 所	<フィンランド> 1 LUKE(天然資源センター) ※ヘルシンキ 2 TAPIO(森林管理コンサルタント) ※ヘルシンキ 3 在フィンランド日本国大使館 ※ヘルシンキ 4 Metsäteollisuus(フィンランド林業協会) ※ヘルシンキ <オーストリア> 5 在オーストリア日本国大使館 ※ウィーン 6 Mayr-Melnhof Forsttechnik GmbH(林業会社) ※グラーツ 7 Forstliche Ausbildungsstätte Pichl(ピヒル森林研修所) ※グラーツ
活動の相手方	1 LUKE BIOSYS ジャパンエコシステム代表 Jutta Kauppi 氏ほか 2 TAPIO カスタムサービスディレクター 氏ほか 3 在フィンランド日本国大使館 特命全権大使 岡田隆氏ほか 4 CEO パウラ・レヘトマキ氏ほか 5 在オーストリア日本国大使館 特命全権大使 岩間公典氏ほか 6 MM FORSTTECHNIK GmbH コンサルタント 氏 7 所長 Martin Krondorfer 氏
活動の目的	鳥取県と岡山県の県境地域の共通課題解決に向けて、フィンランド及びオーストリアにおける林業をはじめとした先進的な取り組み等について調査を行い、今後の両県の施策立案の参考とする

活 動 の 内 容	<u>1 LUKE (ルケ)</u> 代表ほか4名の研究者より聴き取りを実施。フィンランドにおける天然資源への考え方。その主となる森林の管理の方法と今後の活用についてヒアリングを行った。
	<u>2 TAPIO (タピオ)</u> カスタムサービスディレクター、森林分析・計算部門プロダクトマネージャーに聴き取りを実施。20年先を考えた持続可能な森林経営、シンリンシゲンインベントリ、森林経営計画など、森林管理者に提供しているソフトウェアを中心にヒアリングを行った。
	<u>3 在フィンランド日本国大使館</u> 特命全権大使 岡田隆氏より、フィンランドと日本の関係や市民生活の実情等についてヒアリングを行った。
	<u>4 Metsäteollisuus (メツァテオリス：フィンランド林業協会)</u> パウラ・レトマキ CEO より、フィンランド林業協会の概要や林業のDX化等の取組状況についてヒアリングを行った。
	<u>5 在オーストリア日本国大使館</u> 特命全権大使 岩間公典氏より、オーストリアと日本の関係や市民生活の実情等についてヒアリングを実施。
	<u>6 Mayr-Melnhof Forsttechnik GmbH (マイヤーメルホフ林業会社)</u> [] 氏より、マイヤーメルンホフ林業会社の概要を聞き取るとともに、タワーヤードを活用した林業の現場と社保有の林地の管理状況を視察した。
	<u>7 Forstliche Ausbildungsstätte Pichl (ピヒル森林研修所)</u> [] 氏より、ピヒル森林研修所の概要を聞き取るとともに、研修現場を視察した。

活動の結果等

<フィンランド>

フィンランドの国土の7割が森林を占め、産業総生産の2割が林業である。日本の林業は国の助成がないと成り立たないが、フィンランドでは産業として成り立っている。フィンランドは土地の起伏が少なく効率的な森林管理が行えるという利点もあるが、国を挙げてデジタル化をすすめており、土地所有者が積極的に森林の管理に参加していること、また、国が50年以上前から森林についてのデータを蓄積していることが、日本との大きな違いだと感じた。

最新の技術を提供する森林コンサル会社に対して民間の森林組合や森林所有者も強い興味を示し、年配者であっても利用しているとのこと。日本の森林現場はデジタルの活用が遅れているが、その背景には森林管理者に「便利だ、使った方が効率的だ」と感じてもらえるシステムが重要だと感じた。日本の場合、国や都道府県に申請するシステムの基盤を規定し、それに応じてシステムを開発すれば会社の競争も生まれるし、乱立するシステムの親和性もとれる可能性が高い。また、国を挙げてグリーントランジション（化石燃料の脱却）を行おうとしている点も大きく違った。（この背景としては、隣国であるロシアに対しての防衛も推察される。）グリーントランジションの対象は、エネルギーだけではなく、石油化学繊維や薬品にまで及ぶ。気候変動対策として、脱炭素社会の実現に向けて必要不可欠な移行プロセスであるので、日本でも連携できる可能性があるのではないかと感じた。

総じて、フィンランドのように行政、企業、研究機関をもっと密に行うことで日本でも林業が活性化する可能性があると感じた。今後、さらに探求をし、儲かる林業への施策を考え提言していきたい。

●持続可能な森林管理：

厳しい森林法に基づき、伐採と植栽のバランスが厳格に管理されている。皆伐後には速やかに植栽が行われ、多様な樹種を育成することで、森林の多面的機能（木材生産、環境保全、レクリエーションなど）が維持されている。

●効率的な木材加工技術

最新の技術を導入した大規模な製材所や合板工場が多数存在し、原木から高付加価値製品までを一貫して生産する体制が整っている。ICTを活用した生産管理システムも高度に発達しており、効率的なサプライチェーンが構築されている。また、高いデジタル競争力や高度な研究開発能力を背景に開発技術をスタートアップにつなげるエコシステムが存在している。

●森林資源の多角的な活用

木材の生産だけでなく、バイオエネルギーとしての活用、キノコやベリーなどの林産物の採取、森林を活用した観光など、多角的な視点から森林資源が有効活用されている。特に、木質バイオマス発電は再生可能エネルギーの重要な柱の一つとなっている。

研究開発と教育： 林業に関する研究機関や教育機関が充実しており、常に最新の知識や技術が現場に導入される仕組みが構築されている。森林所有者への情報提供や技術指導も積極的に行われている。

●官民連携

国、自治体、森林所有者団体、企業などが連携し、持続可能な森林管理の推進や地域経済の活性化に取り組んでいる。

<オーストリア>

オーストリアは、日本よりも狭い国土面積、低い森林率でありながら、環境に配慮した森林施業や持続的な森林利用、低コストな森林施業などを実現し、先進的な林業を行なっている。急傾斜な山で林業を行っている点は日本ともよく似ており、学ぶべき点が多くある。

令和6年2月26日には日本の農林水産省とオーストリア農林・地域・水資源管理省が協力覚書に署名し、持続可能な森林経営及び木材利用に係る双方の政策に関する情報の交換、木造建築はじめ木材の利活用のイノベーションと技術に関する情報の交換、山地災害の防止と管理に関する情報の交換などの項目に関して交流を行うことを決定している。

鳥取県では平成28年より、オーストリアに林業者を研修派遣したり、ピピル森林研修所から講師を招き、室内講義、タワーヤーダー現地実習、チェーンソー指導研修を行ったりなどの交流がある。

マイヤーメルホフ社は広大な森林を所有しており、作業道を自社でつくり、木の管理をし、販売をしている。最新型のタワーヤーダーも自社で開発して製造しており、それを海外に向けて販売している。「自分たちは実際に現場にでて林業をしているからこそ細かいオーダーに答え、実用性のあるものを作ることができる。現地での研修も可能だ」とおっしゃっていた。このような複合型の事業も「儲かる森林」の形態のひとつであると考える。

ピピル森林研修所では、「事故のない安全な林業」「採算性のある林業」のために機械化が必要であり、そのためには森林教育が必要であるとして、技術からマネジメントまで学べる宿泊付きの研修を国と州が費用を出して行っている。林業の人手が不足している中、いかに研修に来てもらって認定をとってもらえるかなど、学校経営のための様々な工夫や仕組みをご案内いただいた。また、女性に向けた林業(FEM2Forestsプロジェクト)など新しい取り組みの報告もあった。

ピピル研修所は鳥取県とはコロナで交流が途絶えているとのこと。また、鳥取県では平成27年からオーストリア製のタワーヤーダー(KONRAD社製、TST社製など)を導入している。少し時間が経っているので、現状のタワーヤーダーの活用状況、「次世代林業マイスター養成講座」の現状なども含めて、一度国と県に確認する時期にきているのではないかと考える。

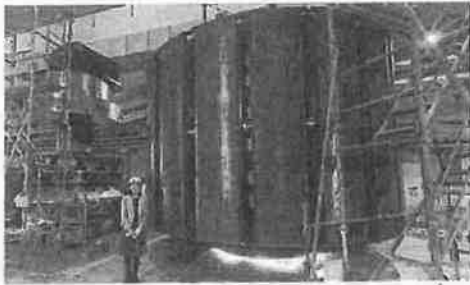
関連領収書番号

0701-01

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	俣野川発電所視察
活動年月日	令和7年4月25日
場所	俣野川発電所（鳥取県日野郡江府町武庫 1990-1、岡山県真庭郡新庄村）
活動の相手方	中国電力 鳥取支社 広報グループ副長 [REDACTED] 業 ほか
活動の目的	① 再生可能エネルギーの主力電源化と「調整力」の理解 太陽光や風力発電の導入が進む中、出力変動を補う「巨大な蓄電池」としての揚水発電の役割を現場で確認する。 ② エネルギー安全保障と地域防災の確認 大規模停電（ブラックアウト）発生時の系統復旧における役割や、ダム の治水・利水機能が地域の安全にどう寄与しているかを調査する。 ③ 地域経済とインフラ老朽化対策の現状把握 現在進められている大規模改修工事（水圧鉄管弁の取り換え等）の状況を把握し、地元企業の参画や雇用、今後のインフラ維持管理の課題を発見する。
活動の内容	岡山県新庄村にある上池から鳥取県江府町にある下池の間の落差約500mを利用して120万kWの発電を行う揚水式発電所。「ご案内ホール」にて、揚水式発電の仕組みなどをご案内いただいた。また、この日、タービンの入れ替え作業があり、地下の発電所までご案内いただき、現場の作業を拝見した。

活動の結果等	▶地下発電所の運用実態 地下約 500m にある巨大な発電機やサージタンクを視察し、無人運転の制御システムや保守管理の難しさを確認した。 ▶エネルギー供給の最適化（需給バランス） 昼間の太陽光発電の余剰電力を活用した「揚水」の頻度や、夜間の電力供給実証データを確認した。 ▶地域との共生 「ご案内ホール」の活用状況や、観光・環境教育（修学旅行の受け入れ等）を通じた地域振興策にも力をいれている。中国電力としても受入数を増やしたいことを確認。 
関連領収書番号	0425-01、0425-02

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 山本 暁子

活 動 事 項	EXP02025 大阪・関西万博 議員研修 学びの多様化学校（旧不登校対策校）について フィランソロピー事業について
活 動 年 月 日	令和7年5月13日～令和7年5月15日 5月13日 9:00～15:00 5月14日 11:00～12:00、13:00～14:00 5月15日 12:00～13:00
場 所	EXP02025 大阪・関西万博 文部科学省（東京都千代田区霞が関三丁目2番2号）等
活 動 の 相 手 方	（公社）2025年日本国際博覧会協会 鳥取県関西本部 大阪・関西万博課 課長 亀谷雅俊氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長補佐 上久保秀樹氏 READYFOR(株) 代表取締役 CEO 米良はるか氏 ほか
活 動 の 目 的	① 関西万博における鳥取県誘客プログラム「とっとりリアル・パビリオン」の効果を調査する。 ② 私立学校の学びの多様化学校設置についての要件などの相談 ③ 世界の富裕層などがウェルスマネージメントのひとつとして活用しているフィランソロピーの日本での有用性について調査する
活 動 の 内 容	① 日本国際博覧会協会主催の議員向け研修会に参加し、関西万博の全容等を確認。その後、関西広域連合が設置する「関西パビリオン」の鳥取県ブース、鳥取県と友好関係を結んでいる国のパビリオンなどを訪問した。 ② 不登校対策として学びの多様化学校の設置が文科省によって進められているが、鳥取県は依然として設置が進んでいない。私立での設置の可能性などを確認するために訪問した。また、各国会議員やその秘書と政策について意見交換を行った。 ③ 学びの多様化学校設置に際し、フィランソロピーが活用できないか検討した。

活動の結果等	① 関西万博における鳥取県ブースは大変有効であることを確認できた。今後半年間このブース等を活用し、インバウンド誘客に加え、外交の場として大いに活用することが重要である。 ② 不登校対策校の設置にはハードルが大変高いことがわかったが、東部、中部、西部で1校ずつ設置することが現実的。小中学校については市町村が対応する内容ではあるが、広域で設置するためには鳥取県で考える必要がある。また、議員にも「学びの多様化学校」の仕組みを周知していただくことが重要だと考えた。 ③ 日本におけるフィランソロピーは1兆2千億円の規模。GDP比0.23%ではあり、まだまだ発展途中ではあるが、見込みはあると感じた。  
関連領収書番号	0410-01、0509-01、0512-01、0513-01、0513-04、0514-01、0515-01、0516-01、0421-03、0513-03

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	国政に対する要望・意見交換
活動年月日	令和7年6月5日 10:00～16:45
場所	衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院議員会館 (東京都千代田区永田町2丁目2-1)
活動の相手方	石破茂衆議院議員、舞立昇治参議院議員、平沢勝栄衆議院議員、石橋林太郎衆議院議員、平将明衆議院議員秘書、河野太郎衆議院議員秘書、
活動の目的	① 行政書士会との連携について ② 学びの多様化学校について ③ DX、AXについて など
活動の内容	現在の国の動向をヒアリングするとともに、地元の現状を伝え、課題解決に向け強く要望をし、意見交換を行った。
活動の結果等	国の取り組み状況などの情報を収集し、県内自治体の状況を地元選出の国会議員や各分野に特化した国会議員へ伝えることができた。意見交換により国の動向も確認できたので、県議会質問などで活用するなど、県政に向けてつなげていきたい。
関連領収書番号	0604-01、0605-01

活動報告（~~県外~~・国外）

議員名： 山本 暁子

活動事項	EXP02025 大阪・関西万博 鳥取県イベント「今日は一日鳥取県」視察
活動年月日	令和7年6月30日～令和7年7月1日 政務活動 7月1日9:00～19:00
場所	EXP02025 大阪・関西万博
活動の相手方	鳥取県知事ほか
活動の目的	関西万博会場全体で朝から晩まで鳥取の魅力を発信する鳥取県のイベント「今日は一日鳥取県」を視察する
活動の内容	サンド・アライアンス加盟パビリオンが一堂に集結する砂ンプラリー、シャインハット前広場で行われたしゃんしゃん傘踊り披露、ORA 外食パビリオン1階で行われた「とっとり牛骨ラーメン」の出店、ポップアップステージ北で行われた郷土芸能ステージなどを視察し、15時「今日は一日鳥取県～まんが王国ととりの魅力～」(EXPO ホール「シャインハット」)では来賓として参加させていただいた。
活動の結果等	大規模に行われた鳥取県のイベントであったが、1日限りのものにしては意味がない。データ収集の徹底し、視察で見た「どの国の、どの層が、何に反応したか」という動線を数値化し、今後の観光戦略に反映させること。万博で得た国内外のネットワークを、万博閉幕後の経済交流や教育旅行の誘致に繋げるためのアフターフォロー体制を構築することが大事であり、引き続き県議会で訴えていく。
関連領収書番号	0708-01

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	鳥取・岡山県境議員連盟 総会、私立博物館視察
活動年月日	令和7年9月2日～令和7年9月3日 政務活動 9月2日①15:00～17:00 9月3日②9:00～11:00
場所	① ザ・シロヤマテラス津山別邸 ② つやま自然のふしぎ館、津山化学教育博物館
活動の相手方	① 鳥取・岡山県境議員連盟 議員 ② 公益財団法人津山社会教育文化財団
活動の目的	① 鳥取・岡山県境議員連盟 総会ならびに海外視察の報告と意見交換 ② 私立博物館の経営についてヒアリング、人食いグマの標本について視察
活動の内容	① 鳥取県知事、岡山県知事に提出する意見書について、フィンランドとオーストリアの林業視察についての報告と意見交換を行う ② 古い建物を利用した財団での運営による博物館の経営状況と人食いグマの胃の標本を確認し、クマ被害についての参考にする
活動の結果等	① 岡山と鳥取が連携できる要素はたくさんあることを再確認し、さらに発展させるために次回両知事に提言を行うこととなった。 ② とても古い建物を活用した博物館であったが、ここに来なければ見られないという特徴的なものを展示するだけで有名になり、多くの人が訪れる博物館となることがよく分かった。ただ、博物館には標本などを保管するという大切な役割があるが、つやま自然のふしぎ館では耐震性などの問題でそれが成り立たない。民ができる分野と官ができる分野を上手に融合する形を模索する手立てとしたい。
関連領収書番号	0902-02、0903-01

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 山本 暁子

活 動 事 項	鳥取県の水産業の発展を考える会、鳥取県・インド友好議員連盟
活 動 年 月 日	令和7年9月8日～令和7年9月9日 政務活動 9月8日①13:00～14:30 ②15:00～16:30 9月9日③13:30～16:30
場 所	① 高知大学物部キャンパス（高知県南国市） ② 高知県庁（高知県高知市） ③ 駐日インド大使館（東京都千代田区九段南）
活 動 の 相 手 方	① 農林海洋科学部 教授 深田陽久氏 ほか ② 高知県水産振興部 課長 土居聡氏 ほか ③ 首席公使マデュ・スダン・ラビンドラン氏 ほか
活 動 の 目 的	① 栽培漁業の今後の可能性等についてヒアリングを行い、その結果を県政への提言等につなげる。 ② 高知県の水産状況についてヒアリングを行い、その結果を県政への提言等につなげる。 ③ インド大使館で行われる「とっとりデー」に議員連盟として参加し、インドと鳥取の交流状況、今後の発展についてヒアリング、意見交換を行い、その結果を県政への提言等につなげる。
活 動 の 内 容	① 深田教授に高知県での養殖魚の育て方、飼料の開発、ブランド養殖魚の開発などについて詳細にお話をきいた。 ② 高知県の水産業の状況や漁業新規就業者支援、水産女子会などの取り組みなどについてお話をきいた。 ③ インドと日本の交流の状況、鳥取県との交流状況、可能性のある技術や人材の交流について、ヴィーガンについて等様々な意見交換を行った。

活動の結果等	① 栽培漁業の第一人者である深田先生より世界、日本の状況と今後の展望についてお聞きした。まだまだブルーオーシャンの世界であるので、鳥取県でもさらに発展させていける可能性のある業界であると感じた。 ② 新規就業者が独立操業を目指すために実施する「独立型研修」が功を奏している。担い手が少ない中、希望者多数となっており、鳥取県でも取り入れるべき内容だと感じた。海洋深層水の取り組みを聞いたかったが、あまり進んでいないようだった。今後ヒアリングを行いたい。 ③ インドからの人材を誘致するだけでなく、鳥取県側でも多様性に対応した受け入れ体制も必要だと感じた。
関連領収書番号	0828-01、0909-01、0331-02

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	鳥取県の移住定住調査
活動年月日	2025年09月22日～9月23日
場所	とっとり おかやま新橋館 (東京都港区新橋一丁目11番7号 新橋センタープレイス1・2階)
活動の相手方	鳥取県・岡山県共同アンテナショップ 運営協議会事務局 事務局長 加藤高志氏、事務局次長鳥飼敏博氏 一般社団法人鳥取県物産協会 坂本幸照氏 ほか
活動の目的	とっとり おかやま新橋館の現状調査 ① 2階移住定住紹介スペースの利用状況 ② 2階催事スペースなどの利用状況 ③ 2階ビストロカフェももてなし屋の運営状況 ④ 1階売り場の運営状況 等
活動の内容	それぞれ担当者に案内をしていただき、リニューアル後の運営状況を調査した。 ① 1月8組程の相談割合、そのうちUターンとIターン割合は半分ずつくらい。何回も来られる方もいるし、カフェからふらっと来られる人もいる。 ② 森の幼稚園のPR活動に利用されていた。鳥取県に縁のある方などを中心に、利用者数が増えている様子。同窓会などにも利用されている。オフィススペースの利用率が決して高いわけではなく、少し気になる。 ③ 昼は多くの人利用されている。ナシやモモのパフェなど、特徴的なメニューで集客している。 ④ インバウンドより日本人客が圧倒的に多い。週末は入り口でイベントを行い、自社の商品を生産者が直接売る姿もみられた。(この日は因幡クラフトコーラを販売しており、ほぼ売り切れ状態だった) 昨年度、岡山県の商品が鳥取県より多い印象をうけたが、今年は鳥取県の商品が増えていた。佳子内親王殿下が着用された民芸品のイヤリングも店頭に並んでおり、話題とニーズにも敏感に反応して品ぞろえを変えているようだった。

活動の結果等	アンテナショップは利益を追求することよりも、鳥取県を発信し PR していくことに重きがある。成果を評価することは難しいが、とにかく人に出入りして利用してもらうこと。そしてリピーターになってもらうことが大切である。近くには奈良県のアンテナショップもあり、そちらはインバウンド客が多く訪れていた。まだまだ改善の余地はあると感じた。
関連領収書番号	0915-01, 0917-01, 0918-01, 0923-01

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	鳥取県議会自由民主党議員による国要望
活動年月日	令和7年10月9日～令和7年10月10日 政務活動 10月9日①11:30～16:05 10月10日②10:00～11:30
場所	① 総理官邸、内閣府、参議院議員会館（東京都） ② 領土・主権展示館（東京都千代田区）
活動の相手方	① 内閣総理大臣 石破茂様、 経済再生担当大臣 赤沢亮正様 内閣官房副長官 青木一彦様 参議院議員 出川桃子様 参議院議員 藤井一博様 参議院農林水産委員長 舞立昇治様 ② 館長 石野貢三様
活動の目的	① 国への要望 ② 領土問題機運醸成のための視察
活動の内容	① 鳥取県議会自由民主党として要望書を提出した。 ② 新しくなった領土・主権展示館を視察する
活動の結果等	① 首相官邸に赴くなど、ダイレクトに鳥取県議会自由民主党の要望を伝えることができた。 ② 領土問題解決のために国にまかせるだけではなく、「国の展示館と連携した、より踏み込んだ県独自の啓発事業」や「デジタルアーカイブ化の予算措置」などを提言する形に繋げると、県政としての実利が生まれると考える
関連領収書番号	0922-01、1009-02、1010-01、1010-02、1010-03、1010-04

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	CLT 構造物視察、国立ハンセン病療養所「長島愛生園」訪問
活動年月日	令和7年10月17日～令和7年10月18日 政務活動 10月18日①8:00～9:30 10月18日②13:30～17:00
場所	① 吉備高原Nスクエア (岡山県吉備中央町) ② 国立ハンセン病療養所「長島愛生園」 (岡山瀬戸内市)
活動の相手方	① 株式会社システムズナカシマ 課長 [REDACTED] 氏ほか ② 長島愛生園歴史館 学芸課長 田村朋久氏 ほか
活動の目的	① 地産 CLT パネルを構造や内装に利用したのコワーキングスペースの視察 ② 鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課主催の国立ハンセン病療養所「長島愛生園」をめぐる事業に鳥取県議会代表として出席し、ともに歴史を学ぶ。
活動の内容	① CLT 構造物での利点や、地域の拠点として活用いただくためのポイントをヒアリングした。 ② 誤ったハンセン病への知識から生じる隔離、差別などを「継承講話」という形で学芸員から学んだ。正しい歴史を知り、人権問題意識を深める機会となった。
活動の結果等	① CLT 構造物のコストは高く、混合型で作ることが現実的のようだ。また、メンテナンスの点で、優れているとは言い難い。バランスのとり方が難しいが、あらゆる建物に木材を使うことで循環型の森林環境を作ることが重要であることを前提に推進していくことが重要。有用性もあるので、県議会で訴えていきたい。 ② 毎年行われている事業であり、今年は県議会の代表として参加した。学生も含む多くの県民が参加し知識を深めており、このような地道な事業がとても大切だと感じた。
関連領収書番号	1017-01

活動報告 (県外・国外)

議員名： 山本 暁子

活動事項	山陰近畿自動車道整備推進決起大会
活動年月日	令和7年11月18日 政務活動 10:00～11:00
場 所	衆議院第一議員会館
活動の相手方	金子国交大臣、石破衆議院議員（議員連名最高顧問）、谷衆議院議員（議員連盟会長）、本田衆議院議員（議員連盟事務局長）ほか地元選出国會議員
活動の目的	未事業区間の早期事業化や事業区間の着実な工事進展に向けた予算確保を国に要望する。
活動の内容	山陰近畿自動車道の未事業区間の早期事業化や事業区間の着実な工事進展に向けた予算確保を国に要望した。
活動の結果等	鳥取市と京都府宮津市を結ぶ東西約120キロの高規格道路。兵庫県内では、新温泉町栃谷と居組をつなぐ「浜坂道路2期」（7・6キロ）、豊岡市の「竹野道路」（4・9キロ）と「城崎道路」（7・4キロ）で整備が進んでいる。今後も地元議員として国への予算確保の要望を継続的に行いたい。
関連領収書番号	1117-03